

資生堂ジャパン

資生堂ジャパンは2月1日、世界88の国と地域で展開する「SHISEIDO」の2022年春夏新製品発表会をオンラインにて開催した。

主催者を代表して挨拶した松村美穂Oから発信していき「SHISEIDOブランド」と語った。



SC認証紙を採用し、サステナブルで美しい未来のためにも対応した150周年ならではの特別なパッケージとなっている。1月1日に保湿ケアシリーズ「エッセンシャル」より発売された乳液とクリームの機能を兼ね備えたモイストライザー「ハイドレーティングクリーム」(50g 7150円)は、発売1カ月で計画比170%

創設150周年を記念した1897年に、最先端の西洋薬学の技術に応用し処方され、初めて発売された当時の復刻版カラーボトルに、輝く未来を表現するプリズムカラーと資生堂オリジナルの唐草デザインを施した。リッグストア約1000店にて展開していく。資生堂の美という価値をア

堂が化粧品事業に着手した1897年に、最先端の西洋薬学の技術に応用し処方され、初めて発売された当時の復刻版カラーボトルに、輝く未来を表現するプリズムカラーと資生堂オリジナルの唐草デザインを施した。リッグストア約1000店にて展開していく。資生堂の美という価値をア

独自のスーパーヴェールUV 360も搭載しており、UV A、UV B 感できる。光の力で肌を補正するメーク効果も付与している。SHISEIDOのメークアップシリーズからは、上向きカールを1日中キープするマスカラベイス「マスカラベースインク」(6g 3300円)を日本限定で5月1日に発売する。まつ毛の表面を均一にコーティングするカールキープ処方などを採用しており、軽いテクスチャーとクリアで大胆な発色、美しい仕上がり、ぱっちりとした上向きのまつ毛が長時間持続する。



角度や光によって印象が変化するものなど豊富なカラーバリエーションでアイメークを楽しむことができる。1つ1つのカラーに合わせたベースにより、様々な発色や質感を叶える。エナメルラッカーは、多彩かつインパクトのある指先へと導く。

独自のスーパーヴェールUV 360も搭載しており、UV A、UV B 感できる。光の力で肌を補正するメーク効果も付与している。SHISEIDOのメークアップシリーズからは、上向きカールを1日中キープするマスカラベイス「マスカラベースインク」(6g 3300円)を日本限定で5月1日に発売する。まつ毛の表面を均一にコーティングするカールキープ処方などを採用しており、軽いテクスチャーとクリアで大胆な発色、美しい仕上がり、ぱっちりとした上向きのまつ毛が長時間持続する。

「SHISEIDO」2022年春夏新製品発表会を開催

「ELEGANCE RAZZLE」プレス展示会を開催

単品でも楽しめ遊び心もある
新シリーズを入口にメーク愛用者の拡大へ



アルビオンは、多彩でインパクトのあるカラーバリエーションとテクスチャーが特徴の新メークアップシリーズ「ELEGANCE RAZZLE (エレガンスラズル)」(アイカラー25色各2310円、エナメルラッカー25色各1320円)を4月18日よりデビューさせるのに先駆け、2月7日、プレス展示会を開催した。

顧客と協働でアイシャドウの色調を選定
マジヨリカマジヨルカ

資生堂のセルフメークアップブランド「マジヨリカマジヨルカ」は、ブランド初の試みとして、顧客と協働で開発したピンクのアイシャドウ「シャドーカスタマイズPK321」を4月21日に発売する。思わず欲しくなる新たなピンク「マジヨリカピンク」を目指し、409名の応募から抽選で選ばれた5名の参加メンバーと色調を開発し、その後ファンクラブ会員全体と色調を決定した。

「Radical」(その瞬間を揺さぶる刺激)で、ターゲットであるZ世代に向けてSNSを切り口に、直感を刺激する心を強く揺さぶるような個性的な色とユーザーのさらなる拡大を目指す。

「Radical」(その瞬間を揺さぶる刺激)で、ターゲットであるZ世代に向けてSNSを切り口に、直感を刺激する心を強く揺さぶるような個性的な色とユーザーのさらなる拡大を目指す。

「Radical」(その瞬間を揺さぶる刺激)で、ターゲットであるZ世代に向けてSNSを切り口に、直感を刺激する心を強く揺さぶるような個性的な色とユーザーのさらなる拡大を目指す。

「Radical」(その瞬間を揺さぶる刺激)で、ターゲットであるZ世代に向けてSNSを切り口に、直感を刺激する心を強く揺さぶるような個性的な色とユーザーのさらなる拡大を目指す。

「Radical」(その瞬間を揺さぶる刺激)で、ターゲットであるZ世代に向けてSNSを切り口に、直感を刺激する心を強く揺さぶるような個性的な色とユーザーのさらなる拡大を目指す。

「Radical」(その瞬間を揺さぶる刺激)で、ターゲットであるZ世代に向けてSNSを切り口に、直感を刺激する心を強く揺さぶるような個性的な色とユーザーのさらなる拡大を目指す。

「Radical」(その瞬間を揺さぶる刺激)で、ターゲットであるZ世代に向けてSNSを切り口に、直感を刺激する心を強く揺さぶるような個性的な色とユーザーのさらなる拡大を目指す。

「Radical」(その瞬間を揺さぶる刺激)で、ターゲットであるZ世代に向けてSNSを切り口に、直感を刺激する心を強く揺さぶるような個性的な色とユーザーのさらなる拡大を目指す。

「Radical」(その瞬間を揺さぶる刺激)で、ターゲットであるZ世代に向けてSNSを切り口に、直感を刺激する心を強く揺さぶるような個性的な色とユーザーのさらなる拡大を目指す。

「Radical」(その瞬間を揺さぶる刺激)で、ターゲットであるZ世代に向けてSNSを切り口に、直感を刺激する心を強く揺さぶるような個性的な色とユーザーのさらなる拡大を目指す。

「Radical」(その瞬間を揺さぶる刺激)で、ターゲットであるZ世代に向けてSNSを切り口に、直感を刺激する心を強く揺さぶるような個性的な色とユーザーのさらなる拡大を目指す。

「Radical」(その瞬間を揺さぶる刺激)で、ターゲットであるZ世代に向けてSNSを切り口に、直感を刺激する心を強く揺さぶるような個性的な色とユーザーのさらなる拡大を目指す。

「Radical」(その瞬間を揺さぶる刺激)で、ターゲットであるZ世代に向けてSNSを切り口に、直感を刺激する心を強く揺さぶるような個性的な色とユーザーのさらなる拡大を目指す。

「Radical」(その瞬間を揺さぶる刺激)で、ターゲットであるZ世代に向けてSNSを切り口に、直感を刺激する心を強く揺さぶるような個性的な色とユーザーのさらなる拡大を目指す。

「Radical」(その瞬間を揺さぶる刺激)で、ターゲットであるZ世代に向けてSNSを切り口に、直感を刺激する心を強く揺さぶるような個性的な色とユーザーのさらなる拡大を目指す。